

1. 参勤交代 2. 検地 3. 守護・地頭の設置 4. 駅制

1. 禅宗の教を広めるための精神修行として、殺生を伴わない競技を形式化するため	2. 倭寇（わこう）などの海賊集団による略奪を取り締まり、東アジアの海上交易を安定させるため	3. 戦で手柄を立てて新たな恩賞を得ることや、先祖から引き継いできた領地を死守するため	4. 朝廷が定めた律令制度に基づき、地方官吏として農民から正確に税を徴収するため
---	--	---	--

1. 地方の政治を監視するために全国の国ごとに配置され、軍事・警察の権限を行使すること	2. 先祖伝来の領地の支配権を認めてもらったり、手柄に応じて新たな土地を与えられたりすること	3. 戦時には命をかけて軍役を果たし、平時には京都や鎌倉の警備などの番役を務めること	4. 荘園や公領の管理を任せられ、農民から年貢を取り立てて幕府や領主に納めること
---	--	--	--

1. 承久の乱で朝廷側を破った後、二度と幕府に反抗させないよう監視し、支配を強化するため。
2. 有力御家人の北条氏が実権を握る際、他の御家人の不満を抑えるための裁判機関とするため。
3. 源頼朝が征夷大將軍に任命された際、公家との交渉窓口として京都に常駐の役所を置くため。
4. 元寇によるモンゴル帝国の襲来に備え、九州地方の沿岸警備や御家人の動員を統轄するため。

1. 運慶 2. 觀阿彌 3. 世阿弥 4. 雪舟

1. 朝廷の政治を監視し、天皇の代替わりを管理する。
2. 諸大名の参勤交代を監督し、江戸の治安を維持する。
3. 全国の田畑の面積を調査し、農民から納められる年貢の額を決定する。
4. 御家人に京都の警備（京都大番役）を命じ、謀反人や殺害人などを取り締まる。

1. 執権の北条泰時が、御家人たちの間で増えていた領地争いの裁判を、武士の慣習に基づいて公平に裁くために定めた。	2. 江戸幕府の将軍が、全国の大名を統制するために、城の修理の制限や参勤交代の義務などを定めた。	3. 徳川吉宗が、裁判の基準を統一して能率的に処理するために、過去の判例などをまとめた法律として定めた。	4. 聖徳太子が、官吏としての心得を説くとともに、仏教を敬い天皇の命令に従うことを求めて定めた。
--	--	--	--

1. 以前からの領地を認めたり、功績に応じて新たな領地を与えたりすること	2. 武士だけに許される特権として、苗字を名乗り刀を差す権利を与えること	3. 朝廷の政治の中枢に参加させるために、京都の公家としての身分を与えること	4. 農民に課せられる年貢や諸役などの重税を、恒久的にすべて免除すること
--------------------------------------	--------------------------------------	--	--------------------------------------

1. 貴族の間で流行した、優美で洗練された国風文化の影響を強く受けたため
2. 新興の武士の気風に合った、素朴で力強い精神性が好まれたため
3. 鉄砲の伝来に伴い、外敵を威圧するために巨大な偶像が各地で必要とされたため
4. 宋との貿易を通じて、禅宗とともに極彩色の華麗な装飾技術が導入されたため

1. 源賴朝 2. 北條時宗 3. 北條泰時 4. 足利義滿

1 地頭請 2 分割相續 3 単独相續 4 永代売買

1. 「南無阿弥陀仏」や「南無妙法蓮華經」と唱えたり、ひたすら座禅を組んだりする修行。
2. 海外へ渡航し、数十年かけて新しい經典を日本に持ち帰ることを目的とした修行。
3. 都市部に大規模な寺院を建立し、そこでのみ行われる複雑な儀式に参加する修行。
4. 山にこもり、数年間にわたって断食や読經を繰り返す学問中心の修行。

1. 国内の金や銀が不足していたため、宋から金や銀を輸入して国内の財政を立て直すため
2. キリスト教の布教を認める代わりに、最新の武器である鉄砲や火薬を優先的に手に入れるため
3. 大陸との貿易で得られる莫大な利益を、一門の軍事力や政治力を維持するための経済的基盤にするため
4. 宋との軍事同盟を強化することで、対立する源氏を武力ではなく外交によって制圧するため